千葉市まちづくり未来研究所
「こどもや若者にやさしいまちづくり」

アオハル　クロス　　アクション
# 「青春×ACTION」サポート実行委員会
## 高校・SC等と連携したアウトリーチ型若者居場所創出事業

2025年12月21日　1班　ACTION発表

高校生活。

後悔しないための、

ACTIONとは？

# 目次

1. チーム名
2. メンバー紹介
3. 政策概要
4. 問題点・課題
5. 政策目的
6. 政策内容
7.具体的な活動
8.実現手段
9.まとめ

# 1. チーム名

- **A**ctive（積極性）：自ら動いて変化を起こす。
- **C**reative（創造）：新しい発想で価値を生み出す
- **T**ransparency（素直／誠実さ）：正直でオープンな姿勢
- **I**nclusion（平等）：みんなを受け入れ、平等に扱うこと。
- **O**pinion（提言）：自分の考えを出してチームに提案する
- **N**akama（仲間）：共に歩む仲間。

# 2. メンバー紹介

高校時代の自分

- 石田将太郎（大学生）
  コロナ禍を言い訳をできないほどの、無。

- 成田美乃莉（高校生）
  中間・期末の後はカラオケか食べ放題に行ってます！

- 水野敬一朗（NPO代表・社会教育士）
  野球部出身。部活ばっかりで学校での思い出があまりない。

# 3. 政策の概要

## 「青春×ACTION」サポート実行委員会」

高校・スクールカウンセラー等と連携した
アウトリーチ型若者居場所創出事業

**スローガン**

1. 高校生の声なき**モヤモヤを拾う**場の創出
2. **仲間**を見つける
3. **アオハル**な企画・運営をする

# 4. 問題点や課題①高校生に焦点を当てる理由

## 若者の自己肯定感に関する現状

**日本の若者の自己肯定感**

- 日本の若者は、他国と比較して**相対的に自己肯定感が低い**
  - ✓ 「**自分自身に満足**している」「自分に**長所**がある」と答える割合
  - ✓ 「自国の**将来が良く**なる」「**自分に夢**がある」と答える割合
  - ✓ 「自分の**行動で国や社会を変えられる**と思う」と答える割合

（出典：（OECD調査・佐賀県教育センター（H29））

**特に高校生は…**

- 2024年の小中高生の自殺者数は527人、過去最多を更新
- この**66%を高校生**が占めている。

（出典：警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等 令和6年暫定値）

こども・若者施策のなかでも、**「高校生の悩み・課題」**に着目！！

# 4. 問題点や課題②悩みの相談相手

## 高校生の悩み相談相手に関する現状

- 友達：相談する割合の減少（台頭の場が減少）
  - NHK放送文化研究所　中学生・高校生の生活と意識調査によると、主な相談相手として友達を回答する高校生は減少している
    (出典： NHK放送文化研究所　中学生・高校生の生活と意識調査)

| 2002年 | 2012年 | 2022年 |
|---|---|---|
| 67% | 60% | 43% |

- 先生：そもそも低い、物理・時間的制約
  - (追記)働き方改革により、多忙。

- スクールカウンセラー：物理・時間的制約、心理的ハードル
  - SCが非常勤（週1回など）で勤務、継続的かつ十分な支援が難しい。 「スクールカウンセラー（SC）非常勤の配置率（公立高等学校：72.5%、私立高校74.6%）」
  - 「カウンセリングを受ける＝深刻な悩みや病気がある人」という固定観念や偏見がまだ根強く残っており、気軽に相談しにくいと感じる生徒がいる。

**高校生の悩みを学校内で解決するのが難しくなってきている**

# 4. 問題点や課題③地域の取組の現状

**若者施策の認知に関するチームの問題意識**

- 行政施策　：知らない若者が多いのでは、、、、？？？
- 地域団体の事業　：　一部の若者しか参加してないのは、、、？

**学校外の取組は高校生たちに届いていない可能性**

# 5. 政策目的

**チームが考える若者たちになっていてほしい姿**

主体的な人

自分に自信を持った人　　⇒　高校生活（自分）が充実している！！

自分の意見を主張できる人

**取組目的（3本柱）**

高校生が、後悔しない学校生活を送る！

主体的にやりたいことができる！

このプロジェクトが「第３の居場所」となり、

尊重し合える仲間や目標が見つかる！！

# 6. 政策内容①

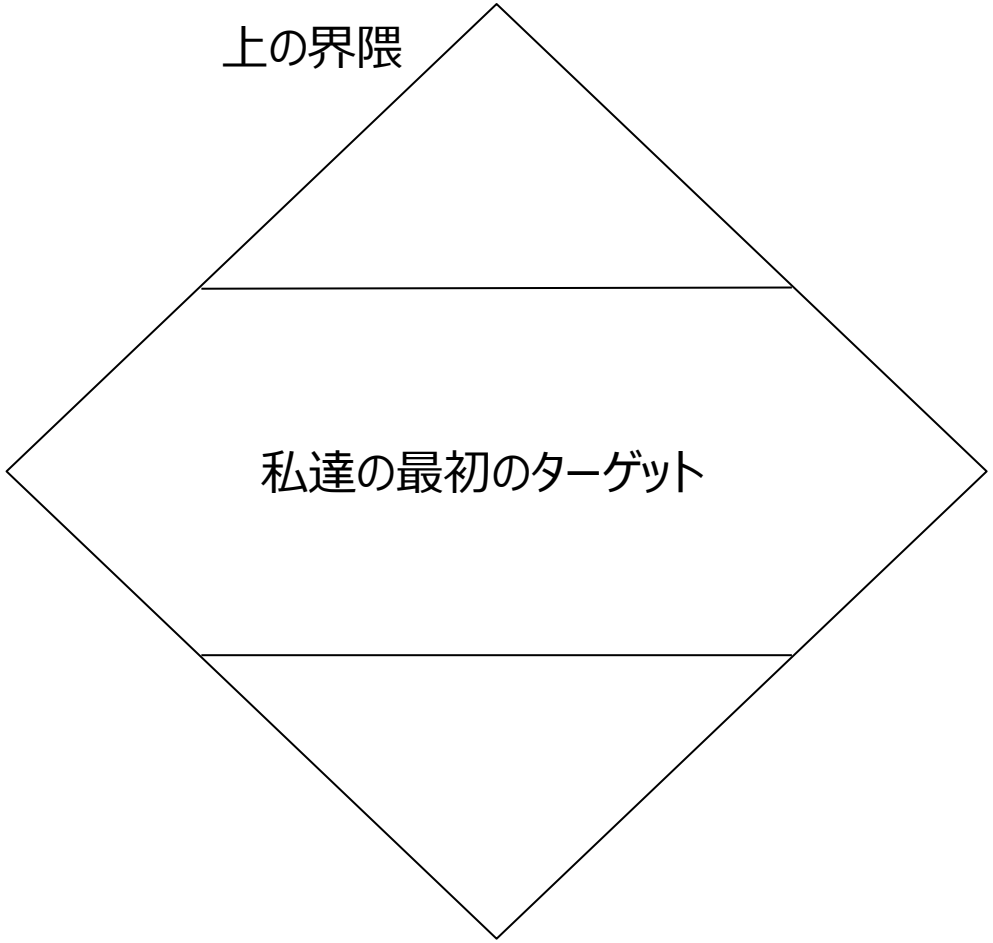
＜私達のターゲット＞

**現状に満足はしていないながらも**
**なかなか一歩を踏み出せない高校生**

→・モヤモヤを発散できていない人
・主体性を育める環境がなかった人
・SCへのハードルが高い人
・挑戦する前に失敗する恐怖を考えてしまう人
例）Aさんの話（次頁）

**悩んでいない高校生はいない**
→バイアスをなくす鍵にもなる

スクールカーストの現状



# 6. 政策内容②

＜私達のターゲット＞

例１） Aさんの話

①学業が芳しくない

②部活動に入っていないか・あまり活動していない

③特に注力している自己活動がない　　など

例２） Bさんの話

普段は人前で自分の考えを話すのが苦手なBさん。そのせいで、クラスや家族以外の人たちとのコミュニケーションを避けていて部活動も入っていません。今回、友達と地域イベントのボランティアに参加して、最初は緊張していましたが、クラスメイトや大人のサポートで少しずつ話せるようになりました。
結果として新しいつながりができ、話すことに自信がついたほかまだ話すことに抵抗感はあるが少しづつ地域の大人や他のクラスの人たちとも一緒にいれるようになったそうです。

# 7. 具体的な活動①本活動

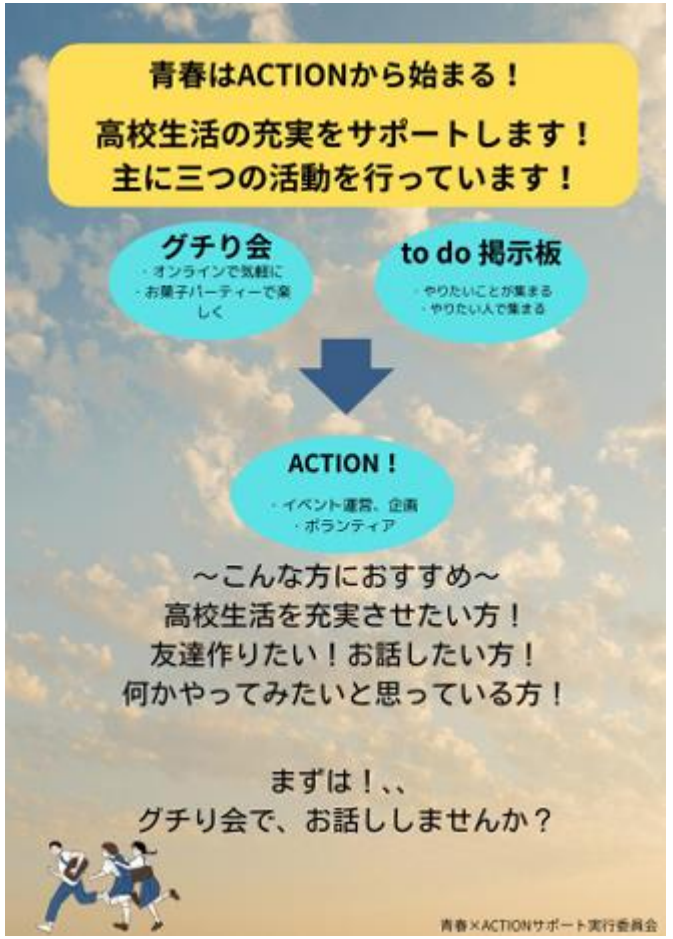
| 活動名 | 活動内容 | ポイント | 得られること |
| --- | --- | --- | --- |
| グチり会<br>＋<br>to do<br>掲示板 | • オンライン上で悩みなど募る<br>• お菓子パーティーやミニ相談会を実施 （自由型と募集型） | • 気軽に参加しやすい雰囲気<br>• 似た不満を持つ生徒を繋ぐ | • 現状の不満を聞きニーズを探る |
| | • まずは箱に紙を入れてもらう<br>• 紙には名前や連絡先も記入してもらう<br>• 分類・選別したものを、掲示板に貼る | • 匿名性の担保<br>• 掲示板の見やすさ | • 仲間を見つける<br>• 新しい興味を持つきっかけ |
| ACTION! | • 実際にやりたいことに向けて活動<br>• 想定活動例：イベント企画、運営・ボランティア・他校との交流、企業や大学との交流等 | • 我々が適宜サポート | • 主体性の獲得 |

# 7．具体的な活動②どうやって生徒を集める？

- ポスター
  ➡グチり会＆to do 掲示板の周知

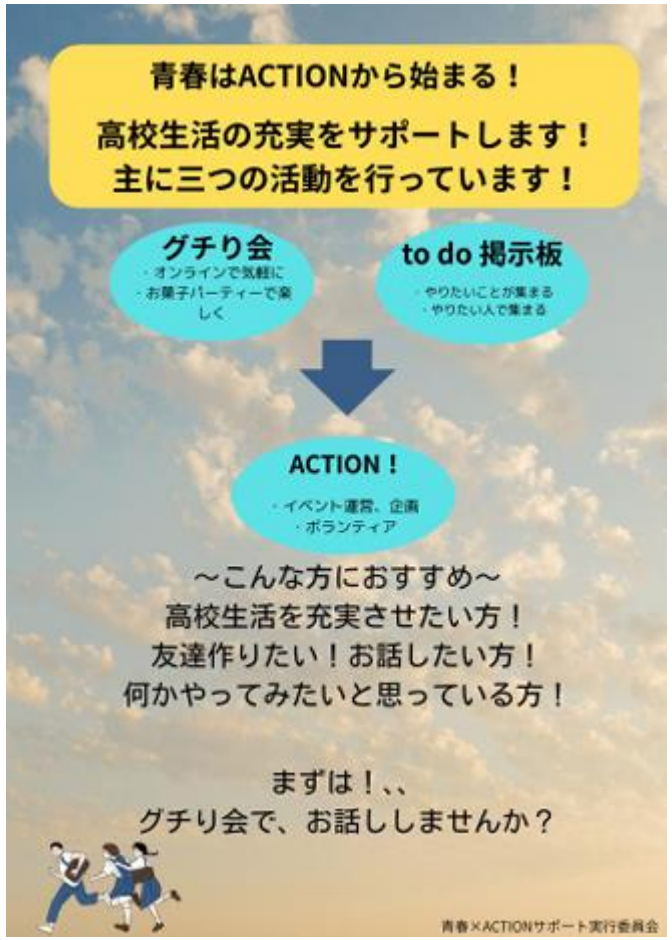
- 学校内部の生徒との関係性構築
  ➡掲示板の設置などの作業面での協力や生徒の認知促進の手助け

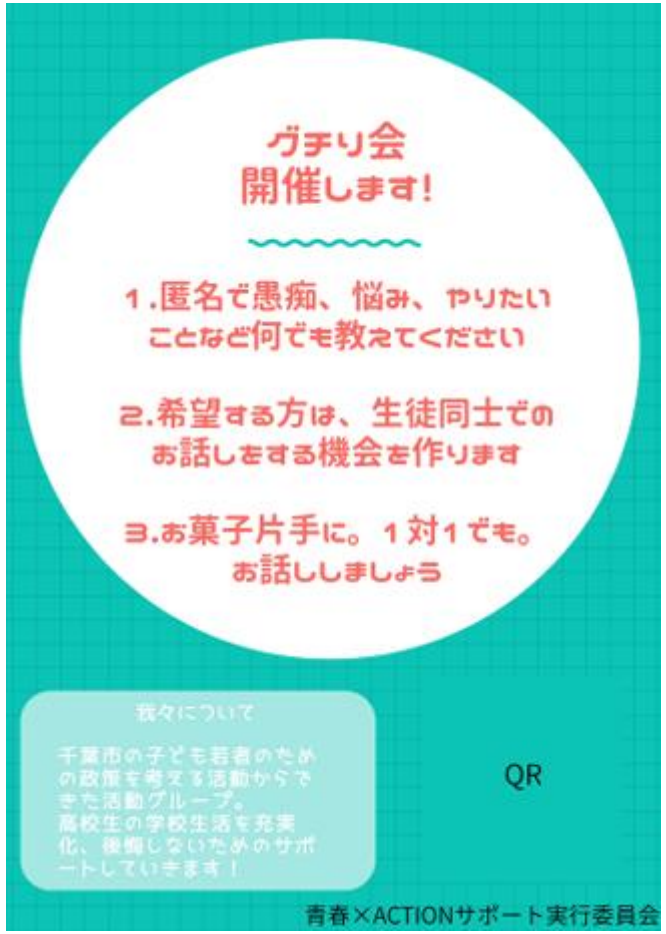
- 学校の許可・協力を獲得
  ➡学校からの賛同や協力を得ることが、今後の活動には必要



広報ポスター案

# 参考：ポスター案


青春はACTIONから始まる！
高校生活の充実をサポートします！
主に三つの活動を行っています！
グチり会
・オンラインで気軽に
・お菓子パーティーで楽しく
to do 掲示板
・やりたいことが集まる
・やりたい人で集まる
ACTION！
・イベント運営、企画
・ボランティア
～こんな方におすすめ～
高校生活を充実させたい方！
友達作りたい！お話したい方！
何かやってみたいと思っている方！
まずは！、、
グチり会で、お話ししませんか？
青春×ACTIONサポート実行委員会


グチり会
開催します!
1.匿名で愚痴、悩み、やりたいことなど何でも教えてください
2.希望する方は、生徒同士でのお話しをする機会を作ります
3.お菓子片手に。1対1でも。お話ししましょう
我々について
千葉市の子ども若者のための政策を考える活動からできた活動グループ。
高校生の学校生活を充実化、後悔しないためのサポートしていきます！
QR
青春×ACTIONサポート実行委員会

# 7. 具体的な活動③類似事例との差異

・類似事例
　生浜高校、市川工業高校、中核地域生活支援センターなどの
　「居場所カフェ」
（参考論文「居場所カフェ」に対する高校教員の意識：千葉県公立高校 2 校の調査から）

・我々の特色
　居場所としての側面だけではない
　オンラインなど多様な選択肢から参加してもらう
　主なターゲットが異なる

# 8. 実現手段

| | | |
|---|---|---|
| 1 | **実施校の選定** | • 私立→市立→県立 |
| 2 | **活動主体・体制** | • ACTIONの3人が中心となり、活動継続に当たっては新たな高校生・大学生を募集予定 |
| 3 | **広報手段** | • 千葉市どこでもこどもカフェ事業の新たな取組として広報 |

# 9. まとめ①

## 高校生がモヤモヤを乗り越えて
## アオハルな企画・運営する機会をサポート！

◎キャッチフレーズ（案）
→参加者(高校生）と決めたい！

青春、全力サポート！！！
やりたいこと、やろっ！！
高校生って、自由だ。
そのACTIONが、未来に繋がる。
勉強×部活×「ACTION」＝青春∞！
「青春」が始まった合図がした。

# 9．まとめ②

## 我々（１班ACTION）だからこそできること

当事者である（高校生、大学生）
私たちだからこそできるサポート！

# 9. おわりに